

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 10 日

事業所名 ILIS CLUB 岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	机の配置を変えたり、二階を活用しています	最大定員が過ぎずには狭く、二階を活用しながら密にならないように工夫しています
	2	職員の配置数は適切である	○		個別、集団支援を実施しています	配置数は適切です
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	身体障がい児は二階を使えない為一階フロアで過ごしています	フロアを分けて使える時は、一階と二階を使用しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の朝礼・終礼、会議や引継帳を活用しています	お互いに気付いた事を伝え合い、情報の共有ができるようにしています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート内容を共有し、指摘事項は改善に努めています	保護者の意見を真摯に受け止め、改善に取り組みます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートの回収率を100%にしています	公開しています
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、必要に応じて外部評価を実施、業務の改善に繋げていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月社内研修を実施。報告書を提出して自己研鑽に励んでいます	社外研修も申請すれば参加可能です
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時の聞き取り、面談や電話等を活用しています	日々の様子から、的確に目標設定ができるようにしています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全アイリスクラブで様式を統一しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で意見を出し合って個別支援計画に沿った支援を実施しています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週、月毎のプログラムを検討しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		一人ひとりの課題を前日に準備、当日取り組めるようにしています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○	保護者の意向を確認し、個別支援計画を作成しています		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	日々の朝礼時には、その日の業務の確認をしています		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	業務終了時には、在所スタッフで日々の振り返りを実施しています		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	全利用児童の日々の様子は、業務日報に記録しています	今後の支援の検証や改善に繋げる事ができるようにしています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的にモニタリングを実施、個別支援計画の見直しをしています		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○	ガイドラインに沿った支援を実施しています	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」等を組み合わせて支援を実施しています	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	必要に応じて児童発達支援管理責任者が参加しています		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校のHPや、担任との日々の連絡により情報共有しています	必要に応じて学校に電話連絡等する事もあります	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	主治医との連携体制は整えています		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		訪問、連絡等により情報共有と相互理解に努めます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	保護者を通じて情報の提供をしています	卒業後の移行先へは積極的に情報提供したいと考えます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後必要があれば専門機関と連携し、助言や研修を取り入れたいです

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
携	26		○		交流や活動はできていない。機会があれば取り入れたいです
	27	○			今年度より協議会が再開となった為、積極的に参加します
	28	○		連絡帳や送迎時に、様子を保護者に伝えています	更に必要に応じて個別に電話連絡し、詳細を伝えています
	29	○		保護者からの相談は、丁寧に耳を傾けるようにしています	保護者が地域から孤立しないよう、積極的に連絡を入れて家族支援に取り組みます
保護者への説明責任等	30	○		具体的に説明しています	
	31	○		相談あれば、丁寧に耳を傾け、助言や支援をしています	その都度、保護者からの悩みや相談に応じ、客観的に中立な立場で話を聞き、支援を行っています
	32		○		コロナ感染症により、開催できていないが適切な時に再開できるように取り組みます(以前は年に二回開催)
	33	○		苦情受付担当者を決め、迅速かつ適切に対応できる体制を作っています	誠意をもって迅速かつ適切に対応する事が重要です
	34	○		ホームページ、ブログ、インスタグラム、毎月のおたよりで発信しています	
	35	○			
	36	○		絵カード、文字カード、手話、指文字、様々なゼスチャー等使います	
	37		○		現状、できていません。機会があれば地域住民を招待できる行事を企画・実施したです
	38	○		それぞれのマニュアルは策定済。訓練も月一回以上実施しています	これまでは「保護者会」で説明をしてきたが、今後はお便り等で説明し周知を図りたいです

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回以上の訓練を実施しています	火災、地震、洪水、不審者等を想定して様々な訓練を実施しています
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年一回以上、虐待防止研修を実施しています	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在は対象児童はいない為、研修会にて組織的に決定し、保護者に説明と了解の上、記録に残して実施する事としています
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者から一覧表をもらって保管しています	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを作成し、常に閲覧可能としています	